

第4学年 国語科学習指導案

令和5年9月14日(木)

第4学年1組 20名

研究主題

「主体的に学び合い、豊かに表現する児童の育成」 ～国語科指導の改善を目指して～

1 単元名 「事実を分かりやすくほうこくしよう」

2 教材名 「新聞を作ろう」

3 単元の目標

◎相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)ア

○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)イ

○比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方、引用のしかたや出典の示し方を理解し使うことができる。 [知識及び技能] (2)イ

○間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えることができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)エ

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方、引用のしかたや出典の示し方を理解し使うことができる。	① 「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 ② 「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ③ 「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えている。	① 進んで相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、構成を考え、学習の見通しをもって学級新聞を作ろうとしている。

5 単元について

(1) 教材観

本単元では、新聞を協働で作るという活動を通して、相手や目的を意識して書きたいことを選び、伝えたいことを明確にする力や、集めた情報を整理、分類して活用する力、さらに、相手に分かりやすい文章になるように推敲して、文や文章を整える力などの力を身に付けることをねらいとしている。

これまでに3年生では、「引用するとき」で引用の方法、「仕事のくふう、見つけたよ」で文章の効果的な組み立て、「科学読み物での調べ方」で知りたいことの調べ方について学習してきた。また、4年生では、「要約するとき」において、要約の方法について学習してきた。これらの学習を基にして、新聞の特徴や中心となる伝えたい内容を明確にし、まとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えさせる。

新聞の特徴である、効果的な見出しの工夫や相手の知りたい情報を記事にするなど、自分たちが伝えたいことだけにとどまらず、相手や目的を意識させて活動に取り組むことで、事実を分かりやすく、多くの人に知らせることができると考える。また、取材やアンケート調査のしかたを学習し、実際に集めた情報を比較したり分類したりして、相手に分かりやすく伝える工夫を身に付けさせたい。

(2) 児童観

国語の学習に関するアンケート調査結果は次の通りである。国語の学習が「好き」「どちらかというところが好き」と答えた児童が58%で、理由の多くは「本を読むのが好き」「登場人物の気持ちを考えるのが好き」「漢字を書くのが好き」だった。次に、自分の考えや思いを他の人に伝えることが「好き」「どちらかというところが好き」と答えた児童は68%だった。理由の多くは「自分が思ったことを言うと気持ちが良くなるから」「自分の意見は言った方がいいから」であった。また、書く学習が「好き」「どちらかというところが好き」と答えた児童は69%で、その理由として「書くことが好きだから」「自分の考えをしゃべらないで伝えられるから」等が挙げられた。

一方、3つの設問に対して「嫌い」「どちらかというところ嫌い」と回答した児童の主な理由は、次の通りだ。「文章を書くのが嫌い」「段落ごとに分けるのが苦手」「考えを伝えるのが恥ずかしくて苦手」「否定されるのが嫌だから」等である。

これらのことから、国語の学習は好きだが、本研究の「書く領域」については「好き」「どちらかというところ好き」だといえる児童は少ないと考える。また、自分の考えや思いを他の人に伝えることについても、自分本位の回答が多く、他の人の考えや思いを聞くことなど、双方向の活動であることへの理解が不十分であると考えられる。

国語をはじめ、さまざまな学習場面で、自分の考えや思いを書く活動を取り入れている。また、繰り返し話し合い活動の有用性を指導し、友達と考えを伝え合う場面を多く設定しており、アンケートを行った頃に比べて苦手意識をもつ児童は減少してきた。本単元では、クラブを紹介する新聞作りにテーマを設定することで、一人一人が新聞記者として3年生に伝える意識を持続し、責任をもって活動に取り組めると考える。

(3) 指導観

本単元のテーマを「クラブをしょうかいしよう」に設定することで、自分の伝えたいことだけでなく、相手が望む情報を分かりやすく伝える記事を書こうとするなど、相手や目的意識を持続して活動に取り組め

ると考える。また、見出しや割り付け、短い文章でまとめること。さらに、記事によって題字の大きさが異なることや、文章以外にも写真や図表等を用いることなど、新聞の特徴に気付かせたり、新聞の構成への理解を深めさせたりしていく。

本単元では、アンケートやインタビューで情報を収集することを学ばせる。そして、目的に合った方法で情報を収集することや、情報を整理・分類できる力が身に付くようにする。アンケート調査結果やインタビューの様子などは、学習支援アプリや端末のカメラ機能などを活用する。さらに、文章の下書きや話し合いの場面など、幅広く活用して児童の学びにつなげていく。

今回の設定したテーマは、子供たちにとって下級生が必要とする情報を書かなくてはならないため、必然性や責任感を強くもって活動に取り組むことができるようになる。また、書くことに対して苦手意識をもつ子供たちにとって、このテーマは自分の経験を基にして書けることや、グループの友達同士での話し合い活動も、同じクラブに所属していることで助言しやすく円滑に進むと考える。

6 研究主題にせまるための手だて

(1) 主体的に学び向かうための手だて

- ① テーマを「クラブをしようかいしよう」に設定し、紹介するクラブは、自分が所属するクラブであることから、全員が身近に感じて継続して活動に取り組むことができるようにする。
- ② 3年生に伝わるような活動場面の写真を取り入れるなど、児童が工夫を考えられる時間を確保する。

(2) 対話的、協働的な学びを生むための手だて

- ① 3年生へのアンケート、クラブの担当教諭や高学年への取材を通して、話し合い活動から有効な割り付けを選択する。
- ② 他のグループとの交流を行うことで、客観的な視点からのアドバイスを受け、新しい気付きや自信を得られるようにする。

(3) 多面的・多角的な評価

- ① 下書きや割り付けを確かめる中で、文末表現の使い方を注意したり、目的に対する記事の内容が中心となっていたりするかなど、相互評価ができる振り返りの時間を確保し、互いに意欲を高めさせる。
- ② 学習計画表に沿って、自己評価することで本時の活動を振り返り達成感をもたせることや、次時への意欲付けや活動の見通しをもたせる。

7 育てたい学びのすがた

主体的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的意識をもち、自分の考えが伝わるように書くことや表現方法を工夫する。 ・自分の役割を考えて、調査で得た情報から3年生に伝えたい内容を選び記事にする。 ・学習計画を基にして、見通しをもちながら活動に取り組む。
対話的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが伝えたいことや、3年生が知りたいことが分かる新聞になっているかをグループで話し合ったり、他のグループの意見を参考にしたりする。
深い学び	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の振り返りを通して、学習の成果を確かめる。 ・他のグループを参考にして、その良さに気付き自分のグループに生かす。

8 学習指導計画（全12時間）

	時	学習内容 ・ 指導上の留意点	評価規準
第1次	1	○単元名とリード文を読み、学習目標を確認する。 ・実際の新聞をお手本として提示する。 ・学習の見通しをもたせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞の特徴についてノートにまとめる。【思①】 ・新聞を完成させるまでの学習過程について、見通しをもって取り組もうとしている。【態】
	2	○新聞を作成するグループを決め、テーマを知る。 ・全員が共有できるテーマにする。 ・「クラブをしようかいしよう」（テーマ） <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">事実を分かりやすくほうこくしよう</div> ・完成する新聞のイメージをもたせる。	
第2次	3	○教材文を読み、新聞の作り方の手順などについて確かめる。 ・学習支援アプリを活用し、新聞の特徴に気付かせる。 ○各グループで取材方法を考える。 ・取材は、部長や担当教諭を対象として、広げすぎないようにする。 ○全体でアンケートの項目を考える。 ・アンケートは、3年生を対象として、どのようなことを知りたいかを問う項目にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方、引用のしかたや出典の示し方に気を付けている。【知】 ・相手や目的を意識して、調べたことから書くことを選び、明確にしている。【思①】 ・自分の知りたいことについて、適切な方法で取材やアンケートを作成している。【思①】 ・書く内容の中心を明確にして記事を構成し、新聞に合った書き方（事実）で記事を書いている。【思②】 ・主述の関係や常態、敬体の統一などに気を付けて推敲している。【思③】 ・進んで相手や目的を意識して、書くことを選び、構成を考えて、新聞を作ろうとしている。【態】
	4 5 6	○取材やアンケートを基に、それらの中から、記事を書くときに使うものを選ぶ。 ・付箋に内容をメモ程度に書く。（黄色大：トップ記事 赤色：記事 青色：写真や図など） ・回答されたアンケートは、各グループに知らせ、それを新聞作りの参考にする。	
	7 （本時）	○トップ記事を決め、割り付けについて話し合う。 ・中心となる記事は何かを考えさせる。 ・ホワイトボード上で付箋を操作する。 ○各グループの発表を聞き、ジャムボード上で助言する。 ・ジャムボード上で助言を書き込む。	
	8 9	○新聞の題名を決める。 ○割付を基に記事の下書きを書き、伝えたい内容に合った見出しの案を考える。	
	10 11 11	○グループで下書きを読み合い、推敲して、見出しを決める。 ・他のグループからの意見も参考にする。 ○清書をして、新聞を仕上げる。	
	12	○完成した新聞を読み合い、感想を伝え合う。 ○学習を振り返る。	
第3次	12	○完成した新聞を読み合い、感想を伝え合う。 ○学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞を読んで、内容や書かれ方について良いところを見つけて伝えている。【思③】 ・新聞作りを通して身に付いた力を確認したり、次に生かしたいことを述べたりしようとしている。【態】

9 本 時（全12時間中の7時間目）

(1) 本時の目標

相手を意識し、目的に応じた割付をすることができる。

(2) 展 開

時間	○学習活動 ・ 予想される児童の反応	●指導上の留意点 ☆評価
つかむ 2分	○前時の振り返りをする。 ○本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">伝えたいことに合わせて、わりつけを考えよう</div>	●学習計画表を確認する。
進める 15分	○トップ記事を決める。 ・3年生が一番知りたい内容を取り上げたいな。 ・ここまでのクラブ活動で、一番盛り上がった内容がいいな。 ○割付を決める。 ・今までやった内容は、全部のせたいな。 ・部長さんや担当の先生のインタビューは、のせよう。 ○写真や図表を決める。 ・トップ記事には、この写真がいいな。 ・他の記事に合うランキングをつくろう。	●話し合うポイントを確認する。 ・一番大きく取り上げる記事を何にするかを考える。 ●メモを基に、自分が一番大きく取り上げたい理由を伝えるようにする。 ・その他に取り上げたい記事を考える。 ・取り上げる写真や図表を考える。 ●適宜、進捗状況を確認する。 ☆進んで相手や目的を意識して、書くことを選び、構成を考えて、新聞を作ろうとしている。【態】
確かめる 18分	○ここまで進めてきた内容について、グループで確認して、他のグループに紹介する。 ○各グループの割付について、気付いたことをジャムボード上で助言する。 ・ホームメイド→サイエンス→屋外スポーツ→屋内スポーツ→ホームメイドに助言する。	●内容を紹介する進行や、他のグループに助言してほしいことを伝える等の担当を決める。 ●取り上げたい記事や割付に迷っているグループには、他のグループからの助言を受ける時間を確保する。
深める 13分	○他のグループからの助言を基に、再考する。 ・写真があった方がわかりやすいね。 ・トップ記事は、もっと大きくしよう。	●助言する視点を示し、構成を進める。 ☆相手や目的を意識して、調べたことから書くことを選び、明確にしている。【思①】
振り返る 3分	○本時の学習の振り返りをする。 ○次時の学習内容を確認する。	